



# あのとときの常呂・写真館

VOL 183

(1991年)

## 平成3年4月27日 道立常呂少年自然の家開所式

▶町立かき島青年の家は道立の施設として移管し、平成3年4月1日から道立常呂少年自然の家としてスタートしました。4月27日、少年自然の家の体育館で行った開所式では、管内の小中学校を対象に募集した所章の表彰もあり、最優秀には常呂中学校2年生の長谷川梢さんの作品が選ばれました。



常呂少年自然の家所章（平成3年4月10日制定）

サロマ湖の豊かな自然にふれて、若者たちがいききとしている姿をイメージしたデザイン。

緑色は少年自然の家のまわりに生えているカシワの樹木を、赤とオレンジ色はサロマ湖の美しい夕日と若人の情熱を表している。（「平成5年度 要覧」から）

●「平成4年度事業報告」の主催事業計画には、「子どもの日フェスティバル」「チャレンジ！常呂川30キロいかだくだり」「太陽の子集合…自然体験のつどい」「手づくりカヌーチャレンジ教室」「子ども手づくりカヌーチャレンジ教室」「雪は友だち…オホーツクの冬を楽しむつどい」「白銀のサロマ湖横断歩くスキー…親子のつどい」「秋を楽しむファミリーのつどい」「ふれあいファミリースポーツのつどい」「ふれあいファミリークリスマスつどい」「凧揚げ・白鳥観察ファミリーのつどい」などの事業が並び、栄浦の自然を活かした体験事業、家族で楽しむふれあいの事業が目につきます。青年の家時代よりも「野外・自然・体験」をメインにした事業展開をする施設に変貌したことがうかがえます。

※以下の写真は、開所初期の頃の2事業



●平成3年7月19-21日  
「チャレンジ常呂川いかだくだり」  
日吉小学校校庭で出発式を行い、  
常呂川上流から常呂川河口までの  
コース



●平成5年5月5日  
「子どもの日フェスティバル」で行われた  
手づくりカヌーの進水式。場所は、少年  
自然の家正面のサロマ湖。

